



CHIBAGAKU

千葉学講座

2/3 (土)

講演 1

写真にみる
人々の暮らしの歴史
千葉県立中央博物館
島立理子(生態・環境研究部長)

講演 2

千葉県誕生
150周年記念事業
房総の海をめぐる
光と影とアート展
クワクポリョウタ
《コレクション・ネット》
をめぐる
千葉県立美術館 松田直子(研究員)

講演 1

2/12 (月・祝)
房総のむらにおける
上総掘り技術の再現
千葉県立房総のむら
鈴木啓太(学芸員)

講演 2

本牧あたりの
昔のカニの話
—ハマの記憶とチバの未来—
千葉県立中央博物館分館
海の博物館
奥野淳兒(主任・首席研究員)

▼千葉学講座HP



令和6年 2/3 (土)・12 (月・祝)
中央博物館講堂 ※講座のみの参加の場合は入館料は不要です。
(オンラインにより同時配信)

開場 12:30~ 13:00~15:20

現地参加: 当日先着順(定員150名、講堂前の1Fホールで受付)

オンライン参加: 要事前申込(締切は各開催日の2日前) オンライン参加申込▶



受講料
無料

千葉県立中央博物館
NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2(青葉の森公園内)
TEL 043-265-3111(代表) FAX 043-266-2481
<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

事業主体 千葉県立美術館/中央博物館・大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館
現代産業科学館/関宿城博物館/房総のむら(指定管理者[公財]千葉県教育振興財団)



チーバくん



県立博物館では、房総の自然や歴史など、さまざまな分野の調査研究活動を行っています。
「千葉学講座」では、最新の活動成果を研究員がわかりやすく解説！この機会に房総の魅力を再発見しませんか。



楽しかった
谷津遊園での
一コマ
(1959年)

2/3(土)

講演 **1** (13:05~14:05)

写真にみる人々の暮らしの歴史

千葉県立中央博物館 島立理子(生態・環境研究部長)

千葉県の150年の歴史は、私たちの何気ない日常の積み重ねです。中央博物館で所蔵している、昭和10年代から平成にかけて千葉県内で撮影された写真を通して、千葉県に住む人たちの歩みを紹介します。



クワクポリョウタ
LOST#19
《しおさいのくに》
2023年
撮影:木奥恵三

講演 **2** (14:15~15:15)

千葉県誕生150周年記念事業

房総の海をめぐる光と影とアート展

クワクポリョウタ《コレクション・ネット》をめぐる

千葉県立美術館 松田直子(研究員)

クワクポリョウタは、電子機器をはじめ様々なメディアを通して作品制作を行うアーティストです。千葉県立美術館からクワクポへ、「房総の海」をテーマとする作品制作を依頼した展覧会《コレクション・ネット》を振り返ります。



上総掘りの
足場

2/12(月・祝)

講演 **1** (13:05~14:05)

房総のむらにおける上総掘り技術の再現

千葉県立房総のむら 鈴木啓太(学芸員)

明治中期頃に上総地方で考案された深井戸掘り工法であり、国の重要無形民俗文化財に指定されている上総掘り。その技術を使って園内で掘削した井戸の出水に至るまでの過程と、房総のむらにおける展示・保存について紹介します。



横浜産
ショウジンガニ標本
ウィーン
(自然史博物館蔵)

講演 **2** (14:15~15:15)

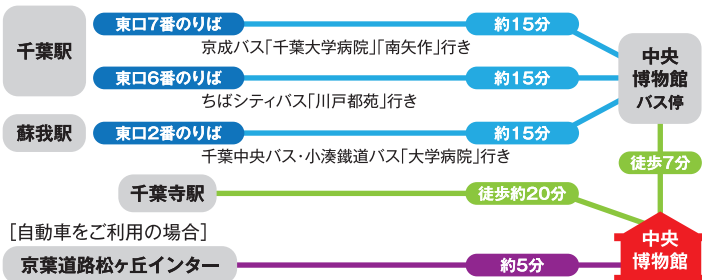
本牧あたりの昔のカニの話

—ハマの記憶とチバの未来—

千葉県立中央博物館分館海の博物館 奥野淳兒(主任上席研究員)

明治時代、海外との出入り口であった横浜では、当時この地を訪れた外国人によって様々な動物の標本が集められ、本国に持ち帰られました。ヨーロッパの博物館に現在も保管されている明治時代のエビやカニなどの標本を調査したことから、かつての横浜の海辺の自然を理解することができました。対岸である千葉県の海の環境のこれからを考えていく上で貴重な情報源となることを紹介します。

交通案内 ACCESS



- JR千葉駅東口から、バス約15分「中央博物館」下車+徒歩約7分
- JR蘇我駅東口から、バス約15分「中央博物館」下車+徒歩約6分
- 京成千葉寺駅から、徒歩約20分 ■自動車の方は「青葉の森公園北口駐車場」(有料)をご利用ください

